

区分	教育科目	履修科目名	1年				2年				合計			
			前期		後期		前期		後期		単位	時間		
			単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間				
必修科目	美容基礎分野	関係法規・制度									1	30		
		衛生管理	衛生管理Ⅰ			1	30					1	30	
			衛生管理Ⅱ					1	30			1	30	
			衛生管理Ⅲ							1	30	1	30	
		保健	保健Ⅰ			1	30					1	30	
			保健Ⅱ					1	30			1	30	
			保健Ⅲ							1	30	1	30	
		化粧品化学	化粧品化学Ⅰ			1	30					1	30	
			化粧品化学Ⅱ					1	30			1	30	
		文化論	文化論Ⅰ	1	30							1	30	
			文化論Ⅱ							1	30	1	30	
		美容技術理論	美容技術理論Ⅰ	1	30							1	30	
			美容技術理論Ⅱ			1	30					1	30	
			美容技術理論Ⅲ					1	30			1	30	
			美容技術理論Ⅳ							1	30	1	30	
			美容技術理論Ⅴ							1	30	1	30	
		運営管理	運営管理	1	30							1	30	
		実習	美容実習	美容実習(カット基礎)	1	30							1	30
	美容実習(カット応用)							1	30			1	30	
	美容実習(パーマ基礎)					1	30					1	30	
	美容実習(パーマ応用)							1	30			1	30	
	美容実習(カラー基礎)					1	30					1	30	
	美容実習(カラー応用)							1	30			1	30	
	美容実習(ワインディングⅠ)			3	90							3	90	
	美容実習(ワインディングⅡ)					1	30					1	30	
	美容実習(ワインディングⅢ)							1	30			1	30	
	美容実習(ウェーブ)					2	60					2	60	
	美容実習(着付け)			1	30							1	30	
	美容実習(まつ毛エクステンション)					1	30					1	30	
	美容実習(メイク)	2	60							2	60			
美容実習(ネイル)	2	60							2	60				
美容実習(シャンプー・ヘッドスパ)	1	30							1	30				
美容実習(ヘアアレンジ)	1	30							1	30				
美容実習(国家試験課題 カット)							2	60		2	60			
美容実習(国家試験課題 総合Ⅰ)							2	60		2	60			
美容実習(国家試験課題 総合Ⅱ)								6	180	6	180			
必修科目計			14	420	10	300	12	360	12	360	48	1,440		
選択科目	美容専門分野	講義実技実習研修	美容実習	美容総合(筆記試験対策Ⅰ)						2	60	2	60	
				美容総合(筆記試験対策Ⅱ)						1	30	1	30	
				美容総合(実技試験対策)						1	30	1	30	
				ヘアケアマイスター				1	30			1	30	
				ヘアデザイン専攻Ⅰ(専攻授業)			2	60					2	60
				ヘアデザイン専攻Ⅱ(専攻授業)					4	120			4	120
				メイク・ブライダル専攻Ⅰ(専攻授業)			2	60					2	60
				メイク・ブライダル専攻Ⅱ(専攻授業)					4	120			4	120
				美容実習(コンテスト)	1	30							1	30
				美容実習(サロンワークⅠ)	1	30	1	30					2	60
				美容実習(サロンワークⅡ)					1	30			1	30
				インターンシップⅠ			1	30					1	30
	インターンシップⅡ					1	30			1	30			
	パーソナルカラーⅠ			1	30					1	30			
	パーソナルカラーⅡ					1	30			1	30			
	ビューティビジネス	1	30							1	30			
	ビューティ・コーディネーター			1	30					1	30			
	キャリア基礎力分野	講義実技	キャリアデザイン	キャリアデザインⅠ			1	30				1	30	
				キャリアデザインⅡ			1	30				1	30	
	ビジネス基礎力分野	講義実技	ビジネス能力	基本IT技術			1	30				1	30	
プレゼンテーション						1	30				1	30		
ビジネス文章力						1	30				1	30		
ビジネス英語						1	30				1	30		
イベントプロデュース						1	30			1	30	2	60	
ボランティア活動			1	30			1	30		2	60			
選択科目計			3	90	16	480	13	390	5	150	37	1,110		
総計(必修Ⅰ+選択)			17	510	26	780	25	750	17	510	85	2,550		

※単位:90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし、校外学習などこれによりがたい場合は別途換算する。

※科目履修(単位)認定の要件: 80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

※卒業の要件: 必修科目48単位(1440時間)及び選択科目20単位(600時間)以上 計68単位(2040時間)以上の履修

科目名	美容文化論Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	西洋のさまざまな髪型、化粧、服装の変遷流行を学び、来るべき時代の要請に応じられるデザイナーになる。 社会貢献ができる美容業界を目指す。 儀式的席に着用する衣装より日本の伝統に触れ合い、欧米文化のしきたりとわが国のしきたりとの関係を理解する。 礼装の種類と特徴を知りTPOを明確にする							
授業の一般目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 美容師国家試験（文化論）合格レベルの知識習得 2. 風俗と時代背景とのつながりを読み解く 3. 髪型、化粧、服装などとのトータルバランスを学ぶ 4. 礼装（和装・洋装）の種類を学ぶ 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容文化論 日本理容美容センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ファッション文化史 西洋編	古代エジプト、古代ギリシャ・ローマ、古代ゲルマン 中世ヨーロッパの髪型・化粧・服装						
第2回		総合学習、小テスト						
第3回		近世Ⅰ(16世紀)、近世Ⅱ(17世紀)、近世Ⅲ(18世紀)の髪型・化粧・服装						
第4回		総合学習、小テスト						
第5回		近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め)、近代Ⅱ(19世紀)の髪型・化粧・服装						
第6回		総合学習、小テスト						
第7回		現代Ⅰ(1910年代～1920年代) 現代Ⅱ(1930年代～1940年代前半)の髪型・化粧・服装						
第8回		現代Ⅲ(1940年代後半～1950年代)、現代Ⅳ(1960年代)の髪型・化粧・服装						
第9回		現代Ⅴ(1970年代)、現代Ⅵ(1980年代)の髪型・化粧・服装						
第10回		現代Ⅶ(1990年代～2010年)の髪型・化粧・服装						
第11回		総合学習						
第12回	ファッション文化 現在	現在の髪型・化粧・服装(課題作成)						
第13回	礼装の種類	和装の礼装						
第14回		洋装の礼装						
第15回		総合学習						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			30	B(2):70点以上
授業態度			○				20	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.vic-kvoto-beautv.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容技術理論Ⅰ			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	-	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく 科学的根拠と系統だった理論を理解することにより、より良い技術と心を、お客様に提供できる美容師をめざす。							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 美容師国家試験（美容技術理論論）合格レベルの知識習得 現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と美容技術について 美容技術における作業姿勢 美容技術に必要な人体各部の名称						
第2回	1章 美容用具	美容用具の特徴、各部の名称、取り扱い方						
第3回		美容用具の選定法と手入れ法						
第4回	2章 シャンプーイング	シャンプーイングの目的、シャンプー剤の成分						
第5回		シャンプーイングの注意点・シャンプー技術の違い(バックシャンプーとサイドシャンプー)						
第6回		リンス・コンディショナー・トリートメントの種類と成分、目的						
第7回		スカルプトリートメントの目的、技術手順 頭皮のトラブル、ヘッドスパ						
第8回		総合学習						
第9回	3章 ヘアデザイン	錯覚現象・デザインの要素						
第10回		デザインの原理						
第11回	4章ヘアカッティング	ヘアカッティングの目的 美容刃物の材質						
第12回		ヘアカッティングの基礎理論 各技法によるヘアスタイルの構成						
第13回		シザーズによる各カット技法の特徴と違い、効果						
第14回		レザーによる各カット技法の特徴と違い、効果						
第15回		総合学習						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容技術理論Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく 科学的根拠と系統だった理論を理解することにより、より良い技術と心をお客様に提供できる美容師をめざす。							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 美容師国家試験（美容技術理論論）合格レベルの知識習得 現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	パーマメントウェーブの理論	ウェーブが形成される仕組み パーマ剤の分類・種類・注意事項						
第2回	パーマメントウェーブ技術	毛髪診断、施術前に適さないシャンプー剤 ロッドの選定・配列 プレ処理（毛髪の状態をコンディショニング）、ワインディング						
第3回		1剤塗布、放置タイム テストカールで見る適正カールの状態、中間リンス						
第4回		2剤塗布、ロッドアウト、プレーンリンス・アフターリンスの目的 ウェーブチェック、スタイリング						
第5回	ワインディングのバリエーション	ロッドの巻き方と・各種ロッドの種類と特徴 宿毛矯正						
第6回	ヘアセッティングとは	オリジナルセットとリセットの違い（基本的な要素）						
第7回	ヘアカーリング	カールの各部の名称と4つの分類 ステムの方向と角度の関係						
第8回		ループの大きさ、毛先の扱い方とウェーブ幅 カールビニングの種類と技術上の注意点						
第9回		各種カール技術の手順とピンをとったところの特徴						
第10回	ウェーピング	ヘアウェーブの名称 ウェーブをつくる方法と形状の分類						
第11回		ピンカールが作り出すウェーブ スキップウェーブ・ターンステムとは						
第12回	スタイリング	ローラーカーリング・ブロードライ・アイロンセッティング・アップスタイル・ウィッグとヘアピース						
第13回	ヘアカラー剤	ヘアカラーの種類とタイプ別特徴 種類別の染毛メカニズム						
第14回	注意事項	色の基本、毛髪のレベルとアンダートーン 皮膚炎とパッチテスト、						
第15回	技術手順	毛髪診断と色の出方 技術手順						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容技術理論Ⅲ			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	-	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく。科学的根拠と系統だった理論を理解することにより、より良い技術と心を、お客様に提供できる美容師をめざす。							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験（美容技術理論論）合格レベルの知識習得 ・現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	エステティック	概論、歴史・目的・注意点、エステティシヤンの心得 皮膚の生理と構造						
第2回	カウンセリング	エステティックにおけるカウンセリング スキンチェック・肌質の種類と特徴						
第3回	マッサージ理論	基本手技（7種類）の目的、フェイシャルケアの効果・方法 フェイシャル及びデコルテマッサージ・バック						
第4回		ボディケアの種類と特徴 ボディマッサージ						
第5回	ネイル技術の概論、種類、爪の構造と機能	概論、さまざまなテクニック（3種類） 爪の構造と名称、爪のカット形状						
第6回	ネイル技術と公衆衛生公衆衛生	消毒方法と手順 カウンセリング（ネイルスタイルと爪の健康状態）						
第7回	ネイルケア	道具類の名称と使用目的 マニキュアとペディキュア技術の手順と内容						
第8回	アーティフェイシャルネイル	道具類の名称と使用目的 プレパレーションとグルー&フィラー技術の手順と内容						
第9回	手と足のマッサージ	マッサージの手順とポイント、目的						
第10回		総合学習						
第11回	メイクアップ概論	概論、顔の形態学的な観察 （プロポーション・骨格と筋肉・顔の立体感）						
第12回	メイクアップと色彩	皮膚の生理と構造	色の特性 表皮・真皮・皮下組織のはたらき					
第13回	メイクアップの道具	道具類の名称と使用目的、手入れ法						
第14回	スキンケア	スキンケア手順と目的						
第15回		総合学習						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voices/ishida/			

科目名	美容技術理論Ⅳ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく。科学的根拠と系統だった理論を理解することにより、より良い技術と心で、お客様に提供できる美容師をめざす。							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験（美容技術理論論）合格レベルの知識習得 ・現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 2 美容実習2 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	ベースメイクアップ	ファンデーションの目的・選び方・種類と特徴 塗り方と順序、カバーテクニック						
第2回	アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ	各種テクニックの技術と効果						
第3回	リップメイクアップ、ブラッシュオンメイクアップ	各種テクニックの技術と効果						
第4回	まつ毛エクステンション	まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健 道具類の名称と使用目的、カウンセリングとアフターケア						
第5回		技術一例と注意事項						
第6回	日本髪	日本髪の各部の名称・種類と特徴・結び方での印象と顔とのバランス(調和)						
第7回	日本髪の装飾品と結髪道具	装飾品と髪結道具の名称と特徴・使用目的						
第8回	結髪技術とかつら	結髪技術の手順、かつら装着とはずし方・飾りの付け方、かつらの手入れ						
第9回	着付け(着物)	いろいろな着物の種類と特徴						
第10回	帯と着付け小物	帯の種類と特徴、着付け小物の名称と使用目的						
第11回	着物の各部名称とたたみ方	着物の名称、たたみ方手順と3種の違い						
第12回	着付け技術	留袖・振袖の着付け技術						
第13回		男子礼装羽織、袴・女子袴の着付け技術						
第14回	和装花嫁	花嫁衣裳の種類、婚礼衣裳の着付け技術						
第15回	洋装花嫁	ウェディングドレスとベールの名称と特徴						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート	◎	○	◎				30	B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	美容技術理論Ⅴ			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	後期	教員実務経験対象	-	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	国家試験課題を学習し理解することによって、実技課題の習得を容易にする。美容技術理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで学んだ事を土台として、さらにトータル的に美容について修得していく。							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験（美容技術理論論）合格レベルの知識習得 ・現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1、2 美容実習1、2 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	総合学習	美容技術理論を学ぶにあつたでの総合知識						
第2回		美容用具の総合知識						
第3回		シャンプーの総合知識						
第4回		ヘアデザインの総合知識						
第5回		ヘアカットの総合知識						
第6回		ヘアカットの総合知識						
第7回		パーマメントウェービングの総合知識						
第8回		ヘアセットの総合知識						
第9回		ヘアカラーリングの総合知識						
第10回		エステティックの総合知識						
第11回		ネイル技術の総合知識						
第12回		メイクアップの総合知識						
第13回		日本髪の総合知識						
第14回		着付けの理論と技術の総合学習						
第15回		苦手科目の強化						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(カット基礎)			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	-	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	wigを3~4台使用し、ベーシックカット~デザインカットの基礎までを理解する→最終日には作品提出を行い、ベーシックデザインを理解する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習 1 日本美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	ヘアカッティング基礎知識を知る	シザーズの持ち方開閉とカットの正しい姿勢					テキスト	
第2回	ヘアカッティング基礎知識を知る	カット技術の専門用語を学ぶ					テキスト	
第3回	wig①ワンレングスカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ①・テキスト	
第4回	wig①ワンレングスカット	前回の授業の復習。スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウイッグ①・テキスト	
第5回	wig①グラデーションカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ①・テキスト	
第6回	wig①グラデーションカット	前回の授業の復習。スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウイッグ①・テキスト	
第7回	wig①レイヤーカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ①・テキスト	
第8回	wig①レイヤーカット	前回の授業の復習。スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウイッグ①・テキスト	
第9回	wig②メンズカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ②・テキスト	
第10回	wig②セიმレイヤー	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ②・テキスト	
第11回	wig②セिमレイヤー	前回の授業の復習。スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウイッグ②・テキスト	
第12回	wig②ショートレイヤー	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウイッグ②・テキスト	
第13回	wig②ショートレイヤー	前回の授業の復習。スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウイッグ②・テキスト	
第14回	wig③作品作成①	履修内容を活かし自由に作品作成し提出(サロン・教員で審査)					ウイッグ③・テキスト	
第15回	wig③作品作成②	履修内容を活かし自由に作品作成し提出					ウイッグ③・テキスト	
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	美容実習(カット応用)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	wigを④台使用し、サロンカット～デザインカットまでを理解する→第14回、第15回には作品提出(サロン様・教員で審査)を行う							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト資料							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	wig①ロングスタイル	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ①・テキスト・定規		
第2回		カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ①・テキスト		
第3回		毛量調節・スタイル理解・仕上げフロー・スタイリング				ウィッグ①・テキスト		
第4回		毛量調節・スタイル理解・仕上げフロー・スタイリング				ウィッグ①・テキスト		
第5回	wig②ミディアムスタイル	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ②・テキスト・定規		
第6回		カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ②・テキスト		
第7回		毛量調節・スタイル理解・仕上げフロー・スタイリング				ウィッグ②・テキスト		
第8回		毛量調節・スタイル理解・仕上げフロー・スタイリング				ウィッグ②・テキスト		
第9回	wig③ショートスタイル	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ③・テキスト・定規		
第10回		カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ③・テキスト		
第11回		毛量調節・スタイル理解・仕上げフロー・スタイリング				ウィッグ③・テキスト		
第12回		毛量調節・スタイル理解・仕上げフロー・スタイリング				ウィッグ③・テキスト		
第13回	wig④作品作成	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ③・テキスト		
第14回		カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ④・テキスト		
第15回		履修内容を活かし自由に作品作成				ウィッグ④・テキスト		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(パーマ基礎)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	ベーシックパーマを理解する→カットスタイルに合わせたパーマ技術を施術できる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	パーマ技術の基礎知識を知る	ケミカルの基本・薬剤選定について						
第2回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	パーマバリエーション～縦巻き・横巻き・斜め巻き				ウィッグ①・テキスト		
第3回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	毛先巻き・中間巻き・逆巻き・スパイラル巻き						
第4回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	パーマバリエーション～縦巻き・平巻き・斜め巻き						
第5回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	毛先巻き・中間巻き・逆巻き・スパイラル巻き						
第6回	wig②前期で使用したショートレイヤーウィッグ	パーマバリエーション～縦巻き・平巻き・斜め巻き					ウィッグ②・テキスト	
第7回	wig②前期で使用したショートレイヤーウィッグ	毛先巻き・中間巻き・逆巻き・スパイラル巻き						
第8回	wig②前期で使用したショートレイヤーウィッグ	効果的な技法選定・施術						
第9回	wig②前期で使用したショートレイヤーウィッグ	効果的な技法選定・施術						
第10回	wig③前期作品作成で使用したデザインウィッグ	パーマバリエーション～縦巻き・平巻き・斜め巻き				ウィッグ③・テキスト		
第11回	wig③前期作品作成で使用したデザインウィッグ	効果的な技法選定・施術						
第12回	wig③前期作品作成で使用したデザインウィッグ	効果的な技法選定・施術						
第13回	wig④作品作成 I	カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す				ウィッグ④・テキスト		
第14回	wig④作品作成 II	カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す						
第15回	wig④作品作成 II	カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	美容実習(パーマ応用)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	デザインパーマを理解する→カットスタイルに合わせたパーマ技術を施術できる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容実習1							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ミディアムパーマスタイル	パーマのバリエーション～薬剤知識・カット・スタイルに合わせた巻き方				ウィッグ①・テキスト		
第2回	ミディアムパーマスタイル	パーマのバリエーション～薬剤知識・カット・スタイルに合わせた巻き方						
第3回	ミディアムパーマスタイル	パーマのバリエーション～薬剤知識・カット・スタイルに合わせた巻き方						
第4回	ミディアムパーマスタイル	パーマのバリエーション～薬剤知識・カット・スタイルに合わせた巻き方						
第5回	ミディアムパーマスタイル	パーマをあてる・ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス巻き方についての仕上がり理解						
第6回	ミディアムパーマスタイル	パーマをあてる・ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス巻き方についての仕上がり理解						
第7回	ショートパーマスタイル	パーマのバリエーション～薬剤知識・カット・スタイルに合わせた巻き方				ウィッグ②・テキスト		
第8回	ショートパーマスタイル	パーマのバリエーション～薬剤知識・カット・スタイルに合わせた巻き方						
第9回	ショートパーマスタイル	パーマのバリエーション～薬剤知識・カット・スタイルに合わせた巻き方						
第10回	ショートパーマスタイル	パーマのバリエーション～薬剤知識・カット・スタイルに合わせた巻き方						
第11回	ショートパーマスタイル	パーマをあてる・ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス巻き方についての仕上がり理解						
第12回	ショートパーマスタイル	パーマをあてる・ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス巻き方についての仕上がり理解						
第13回	作品作成	学んだ内容を取り入れたフリーパーマスタイル制作				ウィッグ③・テキスト		
第14回	作品作成	学んだ内容を取り入れたフリーパーマスタイル制作						
第15回	作品発表会	作品発表を行い、サロン様に評価していただく						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(カラー基礎)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	ベーシックカラーを理解する→カットスタイルに合わせたカラー技術を施術できる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JHCAヘアカラー入門 ①ウィッグは美容実習カット基礎で使用したものを使う ②のウィッグは新品を使用する							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	カラー技術の基礎知識を知る	カラー塗布のバリエーション 薬剤選定・ブロッキング						
第2回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	グレイカラー・塗布手順・注意事項				ウィッグ①・テキスト		
第3回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	グレイカラー リタッチ塗布手順・注意事項						
第4回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	グレイカラーのワンメイク・塗布手順・注意事項						
第5回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	ファッションカラー・塗布の手順・注意事項						
第6回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	ファッションカラーのワンメイク・塗布手順・注意事項						
第7回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	ファッションカラー リタッチ塗布手順・注意事項						
第8回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	マニキュア塗布・注意事項						
第9回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	マニキュア塗布・リタッチ・注意事項						
第10回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	マニキュア塗布・フルカラー・注意事項						
第11回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	ハイスピード塗布・リタッチ・注意事項						
第12回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	ハイスピード塗布・フルカラー・注意事項						
第13回	wig②作品作成 I	カットスタイルに合わせた 効果的なカラー技術を施す					ウィッグ②・テキスト	
第14回	wig②作品作成 II	カットスタイルに合わせた 効果的なカラー技術を施す						
第15回	wig②作品作成 II	カットスタイルに合わせた 効果的なカラー技術を施す						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	石田 美紀		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/				

科目名	美容実習(カラー応用)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	デザインカラーを理解する→カットスタイルに合わせたカラー技術を施術できる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	①～④のウィッグはカット応用で使用したもの ⑤のウィッグは新しいものを使用する							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	カラー技術の応用知識を知る	カラーのバリエーション～薬剤選定・スタイルに合わせた技術						
第2回	wig①デザインカラー①の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ①・テキスト		
第3回	wig①デザインカラー①の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第4回	wig①デザインカラー②の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス						
第5回	wig①デザインカラー②の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定				ウィッグ②・テキスト		
第6回	wig②デザインカラー③の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス						
第7回	wig②デザインカラー③の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第8回	wig②デザインカラー③の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ③・テキスト		
第9回	wig②デザインカラー③の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第10回	wig③デザインカラー③の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス						
第11回	wig③デザインカラー③の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定				ウィッグ④・テキスト		
第12回	wig③デザインカラー③の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス						
第13回	wig③デザインカラー③の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第14回	wig④作品作成	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す				ウィッグ④・テキスト		
第15回	wig④作品作成	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す				技法選定・施術		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	美容実習(ワインディングI)		単位数	3	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ワインディング							
授業の一般目標	1. 25分で頭の形に添った巻き納めができる。 2. ロッド使用しパーマの形成を理解する							
受講条件	美容科に所属している							
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習1 美容技術理論1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	国家試験の配列を覚える							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点								
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点								
<input type="checkbox"/> 態度の観点	身だしなみを整え、技術向上に取り組むことができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	25分で正しい位置で巻き納められている							
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回～2回	器具・用具について ブロッキング・上巻	器具・用具の名称理解・準備の方法を習得・コーミング&ブロッキング コーミング5分&ブロッキングできる(5分)・上巻き技術						
第3回～5回	ブロッキング・上巻き・下巻き	ブロッキング(5分)・上巻き・下巻き技術 ブロッキング・上巻き・下巻き(センター18分)完成						
第6回	フロントについて	ブロッキング・上巻き・下巻き(センター18分)フロントのスライス						
第7回～8回	センターからフロント	センター～フロントを巻く センター～フロントを巻く(フロント3本のバランスに注意する)						
第9回～10回	角度スライスの確認	ブロッキング(5分)・全頭を巻く ブロッキング(5分)・全頭を巻く(巻残りに気をつける)						
第11回～12回	バックサイドのスライスの取り方	バックサイドのスライスの取り方の理解・巻き方練習(右) バックサイドのスライスの取り方の理解・巻き方練習(左)						
第13回	センター角度スライス	センターを角度の確認をし巻く						
第14回～18回	ワインディング全頭	ブロッキング(9ブロック・5分)・時間内に全頭を巻く ブロッキング(9ブロック・5分)・正しいスライス・角度で時間内に全頭を巻く				目標:50分～40分		
第19回～20回	ワインディング全頭	ブロッキング(9ブロック・5分)時間内に全頭を巻く・正しいスライス・角度・(オンベース・1/2オフベース)						
第21回～22回	ワインディング全頭 ①確認テスト	ブロッキング(9ブロック・5分)時間内に全頭を巻く・正しいスライス・角度・(オンベース・1/2オフベース) フロントのスライスを正しく ※見極めテスト(30分)				目標:30分		
第23回～24回	全頭の角度を把握・時間内の完成	ブロッキング(9ブロック・4分)全頭を巻く(30分)正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく ラバーをねじらない・全体のバランス良く						
第25回	衛生の意義と用具類について	衛生の用具類について理解する 衛生と技術の解説DVD						
第26回～27回	衛生の準備について	衛生的に準備(7分)全頭・全体のバランスに気をつける 衛生的に準備(7分)全頭・全体のバランス・ラバー掛けを丁寧にする・おくれ毛を出さない				目標:29分		
第28回～29回	衛生準備、全頭の完成(正確さ・綺麗さ・速さ)	衛生的に準備(7分)全頭・1本25秒・ブロッキング(1分)				目標:28分		
第30回～32回	衛生準備、全頭の完成(正確さ・綺麗さ・速さ)	全頭・1本25秒・ブロッキング(1分)・衛生に気を付ける 衛生的に準備(7分)全頭26分(目標)・1本25秒・ブロッキング(1分)衛生区分(消毒済・使用中)				目標:27分		
第33回～37回	衛生準備、全頭の完成(正確さ・綺麗さ・速さ) ②確認テスト	衛生的に準備(7分)全頭25分・1本24秒・ ブロッキング(1分)衛生区分をする ※見極めテスト(25分)・復習				目標:26分		
第38回～39回	全頭の時間配分と時間内完成(正確さ・綺麗さ20分)	準備(7分)センター(6分)・フロント～右サイド(7.5分)左サイド(6.5分) 準備(7分)センター(6分)・フロント～右サイド(7.5分)左サイド(6.5分)通し全頭(20分)						
第40回～42回	期末試験対策 国家試験審査に準じた作品作成	準備(7分)全頭25分×3・全体のバランスと時間配分を考える						
第43回～45回	国家試験合格レベルで作品を仕上げられる	準備(7分)全頭25分×3・構成に注意して巻く(フロントの配列) 衛生準備(7分)・全頭25分～ふき取り作業まで×3回 ※全頭20分で作品を仕上げ衛生面に配慮できる				目標:25分		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト	○							A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席								欠格条件
担当教員	石田 美紀		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/				

科目名	美容実習(ワインディングⅡ)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	通期		
区分	必修		開設時期	前後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ワインディング (国家課題Ⅰ)							
授業の一般目標	1. 美容師国家試験合格レベル・コンクールレベルの知識習得 2. ロッド使用しパーマの形成を理解する 3. 人間性の醸成							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習1 美容技術理論1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	実力確認テスト (何分で仕上げられるか)	自己ベストタイムを確認する				タイム計測		
第2回	実力確認テスト (ブロッキングとロットの配置)	正確なブロッキングが出来ているのか確認してもらう。ロッドの配置(パネルの方向性、ステム角度、号数)は正確かを確認してもらう				タイム計測無し		
第3回	難点部分の技術強化	姿勢・立ち位置、道具類の使い方を再確認し、意識しながら作業をする				タイム計測無し		
第4回		スライス線を、美しく・正確に取れているのかを再確認し、作業する						
第5回	実力確認テスト (20分で正確に)	難点部分を改善し、目標タイムに入る				タイム計測		
第6回		難点部分を改善しつつ、自己タイムを縮める						
第7回		難点部分を改善し、目標タイム(20分)に入る						
第8回	美しい、コンクールを意識した作品完成	難点部分を改善しつつ、自己タイムを縮める				タイム計測		
第9回		毛幅、面(つや)、ゴムのねじれ、バランス、つながり、おくれ毛を意識する						
第10回		目標タイムを設定し美しく、正確に仕上げる						
第11回		目標タイムを設定し美しく、正確に仕上げる						
第12回	実力確認テスト (20分で正確に美しく)	正確に美しく仕上げ、手直しタイム2分込みで、目標タイムに入る				タイム計測		
第13回	技術の定着	改善点を向上する技術を定着、タイム計測時も安定した技術を発揮する						
第14回								
第15回	実力確認テスト (20分で正確に美しく)	正確に美しく仕上げ、手直しタイム2分込みで、目標タイムに入る				タイム計測20分以内		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		100	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	美容実習(ウェーブ)		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ヘアセッティング							
授業の一般目標	1. 美容師国家試験合格レベルへの引き上げ 2. 正確な技術の習得 3. 人間的醸成 4. セッティングやデザインの復元に富んだ長持ちするコムアウトが容易にできるようになる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習1 美容技術理論1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回~2回	理論と基礎技術 理論と基礎技術 ウェーブ作成	道具説明、馬蹄形にフロントをブロッキングし、ウェーブ実習使用に適した状態に整えローション塗布 イヤトイヤをブロッキングし、後頭部でフィンガーウェーブ シェーピング(半円)を作る作業						
第3回~9回	理論と基礎技術 ウェーブ・リッジ作成	フィンガーウェーブ シェーピング(半円)、リッジを作る作業 両サイドのブロッキングをはずし、ローションを塗布し2段目からフィンガーウェーブ						
第10回~16回	理論と基礎技術 構成	2段目から7段目のフィンガーウェーブ シェーピング(半円)、リッジを作る作業						
第17回~24回	理論と基礎技術 構成・クロッキノールカール	2段目~6段目のフィンガーウェーブ シェーピング(半円)、リッジを作る作業 7段目クロッキノールカール作成、3段目スカルプチュアカール作成						
第25回	理論と基礎技術 構成・クロッキノールカール	1段目馬蹄形の説明→馬蹄形を作る 1段目スカルプチュアカール作成						
第26回~31回	理論と基礎技術 スカルプチュアカール	1段目スカルプチュアカール→2段目フィンガーウェーブ シェーピング(半円)、リッジを作る						
第32回	理論と基礎技術 スカルプチュアカール	1段目スカルプチュアカール→2段目~6段目のフィンガーウェーブ シェーピング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る						
第33回~35回	理論と基礎技術 スカルプチュアカール	1段目スカルプチュアカール→2段目~6段目のフィンガーウェーブ シェーピング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る						
第36回~46回	全体の構成とカール・ウェーブのサイズ	1段目スカルプチュアカールの復習(ウェーブ、スライスの取り方、シェーブの方法、ピンニング) →作成しながら2段目につなげる構成を理解する 1段目スカルプチュアカール→2段目~6段目のフィンガーウェーブ シェーピング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る 7段目クロッキノールカールの復習(ウェーブ、スライスの取り方、シェーブの方法、ピンニング) フロント(スカルプチュアカール)~7段目(クロッキノールカール)まで作成し、全体のバランス みながら35分で仕上げる事を達成目標とする フロント(スカルプチュアカール)~7段目(クロッキノールカール)まで作成し、全体のバランス みながら30分で仕上げる事を達成目標とする 正確サイズで仕上げる 1段目・・・サイズに忠実に6分目安で作成する 2~6段目・・・サイズに忠実に、構成を把握し、2段目~4段目→各3分、5~6段目→各2分、7段目 →5分でウェーブとリッジを作成する(計13分目安) 7段目・・・サイズに忠実に5分目安で作成する						
第47回~51回	後期期末試験課題作成	1 段目：フロント(スカルプチュアカール)、2 段目：ウェーブ・リッジ、3 段目：ウェーブ・リッジ 4 段目：ウェーブ・リッジ、5 段目：ウェーブ・リッジ、6 段目：ウェーブ・リッジ、7 段目：ク ロッキノールカール までを32分で仕上げる事を目標とする				目標35分		
第52回	確認テスト	全順35分以内に仕上げる						
第53回~第60回	後期期末試験課題作成	1 段目：フロント(スカルプチュアカール)、2 段目：ウェーブ・リッジ、3 段目：ウェーブ・リッジ 4 段目：ウェーブ・リッジ、5 段目：ウェーブ・リッジ、6 段目：ウェーブ・リッジ、7 段目：ク ロッキノールカール までを29分で仕上げる事を目標とする 1分で全頭チェック手直し 評価項目【国家に準じる】 * 全体の構成が理解出来ている * スカルプチュアカール・クロッキノールカールのサイズ、位置、作り方を 理解している * ウェーブのシェーブを常に床と並行に動かし、面を揃えて正確にCカール を作る事が出来る * 正確なシェーピングをし、ウェーブの面が揃うリッジを作る事が出来る				30分で作品制作		
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		100	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	美容実習(まつ毛エクステンション)			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	後期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	まつ毛エクステンションの正しい技術、知識を学び							
授業の一般目標	衛生管理に注意を払い、エクステンションの装着、リムービングができるようになる							
受講条件	美容科に在籍している							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本理容美容教育センター「まつ毛エクステンション」							
授業の到達目標								
<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点	知識として学んだことを活かし技術ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点								
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点								
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input checked="" type="checkbox"/> 技能・表現の観点	正しい姿勢、持ち方、装着ができる							
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	まつ毛エクステンション概論	まつ毛エクステンションとは、用具の名称					教材配布	
第2回	グルーの使用方法和装着(Jカール)	グルーの使用に関する注意、ツイザーの正しい持ち方、姿勢。装着の練習を紙で行う。						
第3回	装着(Cカール)衛生管理	装着練習(Cカール)を紙で行う。まつ毛エクステンションでの衛生管理について						
第4回	まつ毛エクステンションにおける保健	目の構造、皮膚、まつ毛について						
第5回	カウンセリング	まつ毛エクステンションのカウンセリングについて						
第6回	小テスト(まつ毛エクステンションの知識) テーブルセッティングとテーピング	小テスト テーブルセッティングの仕方。テーピングの説明と実習						
第7回	かき分け、装着とテーピング	かき分けの練習。テーピングについて。まつ毛の装着(Jカール)						
第8回	装着とリムービング	まつ毛の装着(Jカール・Cカール)とリムービング						
第9回	テーブルセッティングから装着	テーブルセッティングのタイム計測。ウィッグへの装着練習(Jカール・Cカール)						
第10回	テーピング、装着 装着の小テスト	装着のテスト。テーピングから装着練習。					ウィッグを使用した実習	
第11回	テーピングから装着。リムービング	テーピングから装着(Jカール)のタイム計測 リムービング						
第12回	テーブルセッティングから装着	テーブルセッティングから装着のタイム計測(片目リムービング)						
第13回	テーブルセッティングから装着	テーブルセッティングから装着のタイム計測(片目リムービング)						
第14回	テーブルセッティングから装着	テーブルセッティングから装着のタイム計測(片目リムービング)						
第15回	期末テスト	知識・技術に関してのテスト						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				○		7	S(4):90点以上
小テスト	○						3	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度					○			C(1):60点以上
発表・作品								D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席								欠格条件
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	美容実習(シャンプー・ヘッドスパ)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	現場に必要な頭皮理論、ヘッド・スパ技法の習得、及びコンサルテーション能力向上を目指す							
授業の一般目標	頭皮理論とスパシャンプー、クレンジング、リフトアップメソッドの習得。不調の原因、解消法など応対話法の習得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	資生堂ヘッドスパテキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回-2回	シャンプーを知る	シャンプー準備・シャワーの使い方・マッサージ理論						
第3回-4回	シャンプーを知る	シャンプー工程を覚える・効果的なマッサージトレーニング						
第5回-6回	頭皮ケア理論 グロースメソッド・テクニック①	デトックス(スキャルプ) マッサージトレーニングを行う						
第7回-8回	テクニック②	リフトアップ(頭皮とリンパ) マッサージトレーニングを行う						
第9回-10回	テクニックまとめ	前回迄の技術を一連の流れで行う						
第11回-12回	理論・マッサージ技術検定	前回迄の技術を一連の流れで行う				資生堂ディプロマ取得		
第13回-14回	コンサルテーション理論	筆記、技術に関するチェックテストを受験する						
第15回	コンサルテーション実習	コンサルテーションについて、実際に実習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	ヘアデザイン専攻Ⅱ(専攻授業)			単位数	4	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	選択			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<ul style="list-style-type: none"> ・よりお客様からもニーズがあり、サロンで活用できるクオリティの高いカット技術の知技を身につける。 ・JHCAダブルスター検定試験合格を目標とする。 							
授業の一般目標	カットのデザイン性・ホイルワーク技術、必要性を学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JHCAヘアカラー入門 改訂版							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第16回	WIG① デザインカット	マッシュウルフ						
第17回	WIG① デザインカット	マッシュ						
第18回	WIG① デザインカット	ショートレイヤー						
第19回	WIG② デザインカット	フェードカット						
第20回	WIG② デザインカット	学んだ内容を取り入れたフリースタイル作成・発表・サロン様に評価していただく						
第21回	JHCAダブルスター検定 対策授業	ブロッキング・ホイルワーク						
第22回	JHCAダブルスター検定 対策授業	ブロッキング・ホイルワーク						
第23回	JHCAダブルスター検定 対策授業	ブロッキング・ホイルワーク						
第24回	JHCAダブルスター検定 対策授業	ブロッキング・ホイルワーク						
第25回	JHCAダブルスター検定 対策授業	ブロッキング・ホイルワーク						
第26回	JHCAダブルスター検定 対策授業	ブロッキング・ホイルワーク・タイム計測						
第27回	JHCAダブルスター検定 対策授業	ブロッキング・ホイルワーク・タイム計測						
第28回	JHCAダブルスター検定 対策授業	ブロッキング・ホイルワーク・タイム計測						
第29回	JHCAダブルスター検定 対策授業	ブロッキング・ホイルワーク・タイム計測						
第30回	JHCAダブルスター検定 対策授業	ブロッキング・ホイルワーク・タイム計測						
成績評価方法								
単位認定 作品作成60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品	◎	◎	◎	◎	◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	メイク・ブライダル専攻 I (専攻授業)		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	メイクに強いスタイリストになる為、イメージメイク、ショーメイク、撮影用メイクを学ぶ							
授業の一般目標	イメージを形にできる能力を身に付けコンテスト、ヘアショーの作品制作に活かす							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	①美容実習2 ②美容技術理論2 ③JMAメイク検定2級テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	洋風アップスタイル・ヘアアレンジ	編み込み、ヘアアレンジの応用				テキスト①・テキスト②		
第2回	洋風アップスタイル・ヘアアレンジ	編み込み、ヘアアレンジの応用						
第3回	着付け(ドレス)	ドレスフィッティング						
第4回	ポイントメイク基礎	ポイントクレンジング～ベースメイク、チーク、ローライト、ハイライト				テキスト③		
第5回	実技チェック・復習	ポイントクレンジング～ベースメイク、チーク、ローライト、ハイライト						
第6回	ポイントメイク基礎	アイブロウ、アイシャドウ、アイライナー						
第7回	実技テスト	ポイントクレンジング～アイブロウ、アイシャドウ						
第8回	ポイントメイク基礎	アイライナー復習・ビューラー・マスカラ						
第9回	検定対策(ポイントメイク)	ポイントクレンジング～アイブロウ、アイシャドウ						
第10回	ポイントメイク応用	ショーメイク						
第11回	検定対策	JMA技術検定2級試験 模擬試験						
第12回	検定対策	JMA技術検定2級試験 模擬試験						
第13回	検定対策	JMA技術検定2級試験 模擬試験						
第14回	検定対策	JMA技術検定2級試験 模擬試験						
第15回	JMA技術検定2級試験	JMA技術検定2級試験 実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○				20	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	メイク・ブライダル専攻Ⅱ(専攻授業)		単位数	4	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ヘアアレンジ・洋風アップ・和風アップ・着付けを学び、サロンでのヘアメイク関連の業務、職業に活かす。							
授業の一般目標	様々なヘアアレンジ、アップスタイル、着付けの基礎知識・技術を学ぶ							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	①美容技術理論1 ②美容実習1 ③美容実習2							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	アップスタイル 1	着付けの基礎知識・着付けの技術				テキスト①・テキスト②		
第2回	アップスタイル 2	着付けの基礎知識・着付けの技術				テキスト①・テキスト②		
第3回	アップスタイル 3	着付けの基礎知識・着付けの技術				テキスト①・テキスト②		
第4回	アップスタイル 4	着付けの基礎知識・着付けの技術				テキスト①・テキスト②		
第5回	和装スタイル	着付けの基礎知識・着付けの技術				テキスト①・テキスト②		
第6回	日本髪	ドレス・フォーマル・カジュアル 様々な服装に合うアップスタイル				テキスト②・③		
第7回	日本髪	ドレス・フォーマル・カジュアル 様々な服装に合うアップスタイル				テキスト②・③		
第8回	着付け(浴衣・振袖)	ドレス・フォーマル・カジュアル 様々な服装に合うアップスタイル				テキスト②・③		
第9回	着付け(浴衣・振袖)	着物に似合うヘアアレンジ・アップスタイル				テキスト②・③		
第10回	浴衣着付け・ヘアアレンジ	着物に似合うヘアアレンジ・アップスタイル				テキスト②・③		
第11回	浴衣着付け・ヘアアレンジ					テキスト②・③		
第12回	ドレス(花嫁)	ウェディングドレス(挙式スタイル)に適したヘア・メイク				テキスト②・③		
第13回	ドレス(花嫁)	カラードレス(披露宴スタイル)に適したヘア・メイク				テキスト②・③		
第14回	ドレススタイル	ドレスの知識、相モデル				テキスト②・③		
第15回	ドレススタイル	相モデル				テキスト②・③		
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	小林 昌子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kobavashi/			

科目名	美容実習(サロンワークⅡ)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	サロン実務演習							
授業の一般目標	お客様・先輩スタッフから信頼を持って頂ける人材になる。サロンフロア業務の全てを把握し、広い視野を持って実践できる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	ビジネスマナー 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	正しい動作	挨拶の大切さ・意味、礼儀作法、ルールとマナー				アシスタント業務全般Ⅲ		
第2回		基本動作(立ち姿勢、歩き方、お辞儀など)						
第3回	社会人としての基本	学生と社会人の違い、コンプライアンス						
第4回		責任感・規律性・積極性・協調性						
第5回		サロンスタッフとしての身だしなみとファッション(美意識)						
第6回	ホスピタリティー	おもてなしとは、接客とは						
第7回	美容業の展望	美容師ができること・すべきこと					アシスタント業務全般Ⅲ	
第8回		美容師ができること・すべきこと						
第9回	職場の人間関係	チームワークとコミュニケーション					アシスタント業務全般Ⅲ	
第10回		上司や先輩との話の仕方、話の聞き方						
第11回		気配り・心配り、個性の尊重、自分の役割						
第12回	サロンワーク	技術上達のためにすべきこと				アシスタント業務全般Ⅲ		
第13回		技術上達のためにすべきこと						
第14回		技術上達のためにすべきこと						
第15回	前期授業の振り返り	社会人としての職業意識の振り返り・今後の目標						
第16回	接客の基本	接客について						
第17回	敬語	言葉づかい・接客用語・お客様との会話						
第18回	電話対応	電話の受け方・かけ方						
第19回	サロンでの1日	掃除～身支度～朝礼～予約のお客様の受け入れ準備						
第20回		終礼～お客様情報の共有～次回来店までのアプローチ						
第21回	伝わるDM・POP	DMの書き方・効果的なPOPの作り方				アシスタント業務全般Ⅲ		
第22回		DMの書き方・効果的なPOPの作り方						
第23回		トレンドを理解する(情報収集)						
第24回	スタッフとしての立ち居振る舞い	カルテを記入いただきブレカウンセリング～ヒヤリング～提案						
第25回		担当への報告、連絡、相談～セット面への誘導～言葉掛け～クロス掛け						
第26回		技術準備～技術ヘルプ						
第27回		印象の良い自己紹介～キャンペーン告知						
第28回		店販品の促進						
第29回		自己研鑽による成長	コンテスト・セミナーへの参加					
第30回	後期授業の振り返り	自己評価と今後の目標						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子		実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/				

科目名	インターンシップ I		単位数	1	科目コード			
授業形態	研修		対象学生	1年生	開設期	通期		
区分	選択課目		開設時期	前・後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	実際のサロン勤務を体験(研修)し、これを通して、専門知識を実社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要かを考える能力を身に付けるとともに就職に繋げる。							
授業の一般目標	1. サロン様の実践的経験 2. 職業意識の育成 3. いろいろな人の持つ考え方や行動に触れることにより、学生としてではなく、社会人としてのマナーや責任感を身につけることができる。実践的な経験により、自主的に行動ができる人材を育成する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	ネットワークサロン・インターンシップ先の情報収集、特徴を調べ把握する							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	インターンシップガイダンス	インターンシップの意義と目的について概要説明。ビジネスマナーについての確認						
第2回	サロン研究	サロン様の経営方針・教育方針を調べ、自分に合ったサロン様を研究する						
第3回	インターンシップ事前準備	インターンシップ先を決定する。インターンシップ先誓約書記入						
第4回～5回	インターンシップ実習期間①	自宅近隣のネットワークサロンで実務研修				8月下旬(1年)		
第6回～7回	インターンシップ実習期間①	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第8回～9回	インターンシップ実習期間①	インターン先の情報共有・実務記録の完成・提出 お礼状の発送				8月下旬(1年)		
第10回～11回	インターンシップ実習期間②	興味のあるサロンで実務研修						
第12回～13回	インターンシップ実習期間②	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入				12月下旬(1年)		
第14回～15回	インターンシップ実習期間②	インターン先の情報共有・実務記録の完成・提出 お礼状の発送						
成績評価方法								
単位認定 実務記録提出								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			100	B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	インターンシップⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	研修		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択課目		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	実際のサロン勤務を体験(研修)し、これを通して、専門知識を実社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要かを考える能力を身に付けるとともに就職に繋げる。							
授業の一般目標	1.サロン様の実践的経験 2.職業意識の育成 3.いろいろな人の持つ考え方や行動に触れることにより、学生としてではなく、社会人としてのマナーや責任感を身につけることができる。実践的な経験により、自主的に行動ができる人材を育成する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	ネットワークサロン・インターンシップ先の情報収集、特徴を調べ把握する							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1.学んだ事を説明できる。 2.学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	インターンシップガイダンス	インターンシップの意義と目的について概要説明。ビジネスマナーについての確認						
第2回	サロン研究	サロン様の経営方針・教育方針を調べ、自分に合ったサロン様を研究する						
第3回	インターンシップ事前準備	インターンシップ先を決定する。インターンシップ先誓約書記入						
第4回	インターンシップ実習期間③	就職を見据えたサロンで実務研修						
第5回	インターンシップ実習期間③	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第6回	インターンシップ実習期間③	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第7回	インターンシップ実習期間③	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第8回	インターンシップ実習期間③	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第9回	インターンシップ実習期間③	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第10回	インターンシップ実習期間③	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第11回	インターンシップ実習期間③	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第12回	インターンシップ実習期間③	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第13回	インターンシップ実習期間③	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第14回	インターンシップ実習期間③	受入れ事業所で就業体験・実務記録の記入						
第15回	インターンシップ実習期間③	インターン先の情報共有・実務記録の完成・提出 お礼状の発送						
成績評価方法								
単位認定 実務記録提出								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			100	B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	キャリアデザインⅠ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	就職活動の為の、キャリアガイダンス 1. 自己分析 2. プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身に付ける 3. 仕事を知る							
授業の一般目標	1. 自分を知る事で「やりたい事」「できる事」「将来像」を明確にしていく。 2. プレゼンテーション能力を身に付ける。 3. 社会人として必要なコミュニケーション能力を身に付ける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	キャリアサポート「自己分析」	「過去の振り返り」「自己理解」						
第2回	「幸せの心理学セミナー」	「人生の目的」「幸せの領域」「マズローの5段階欲求説」				講話 グループワーク		
第3回	「幸せの心理学セミナー」	「人間関係」「対人関係」「脳の構造」「コミュニケーション」						
第4回	「幸せの心理学セミナー」	「エゴグラム式パーソナル分析」				講話 レポート提出		
第5回	キャリアサポート「他己分析」	「クラスメイトを知る」「他己理解」						
第6回	キャリアサポート「応募書類について」	履歴書の書き方、自己PR作成						
第7回	キャリアサポート「SMBC講話」	生活設計についての講話						
第8回	「ニュースタッフセミナー」	ビジネスマナー研修 「接客の基本」				復習テスト		
第9回	「ニュースタッフセミナー」	ビジネスマナー研修 「敬語、クッション言葉」						
第10回	「ニュースタッフセミナー」	ビジネスマナー研修 「電話対応、ロールプレイング」				復習テスト		
第11回	キャリアサポート「合同企業説明会について」	企業説明会所作、心構え						
第12回	学内合同企業説明会							
第13回	「ニュースタッフセミナー」	ビジネスマナー研修 「電話の取次ぎ、ロールプレイング」				復習テスト		
第14回	「ニュースタッフセミナー」	ビジネスマナー研修 「席次、名刺交換」						
第15回	期末 筆記試験	小論文700～1000文字「キャリアデザインの授業で身に付いたこと～就職して成し遂げたいこと」						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 筆記試験 小論文40点満点(40%) 復習テスト・レポート提出(60%)各10点満点								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験		○					50	S(4):90点以上
小テスト	○						30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート				○			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			